

平成 31 年 3 月 28 日

平成 31 年度 社会福祉法人まるご福祉会

事業計画書



まるご福祉会の理念 .

1.はじめに 「障がい者の生涯を支えたい」

「障がい者の生涯を支えたい」

まるご福祉会が発足より描いてきた大切な原点であり、理念であり、実現すべき目標であります。

平成 30 年度、本会はこの理念を大きく前進することができました。地域密着型特別養護老人ホーム「大樹」の第一号の利用者はグループホームで生活をし、きらりへ通所していた S さんが入所となりました。大樹の開設により「障がい者の生涯を支えたい！」との願いがいよいよ実現し、高齢を迎えて安心して生活できる終の棲家が見つかり、安らかな看取りまでが可能となりました。また、社会福祉法人の使命である地域福祉の推進を図るために、N P O 法人ぱれっと、ボランティア団体チームあつたかい輪等の皆様との協働の力で、児童から高齢者にいたるまで、まるご福祉会にかかわるすべての人が幸せになる支援を充実させ、様々な資源を有効に活用しながら推進してまいります。

1 地域密着型特別養護老人ホーム 「大樹」 · 地域診療所 かんわ

2 障害福祉サービス事業所 「とんぼハウス」 就労継続支援 B 型・生活介護・相談支援

上田市丸子物産館 「花風里」

3 障害福祉サービス事業所 「きらり」 就労継続支援 B 型・生活介護

協働の力で地域福祉の推進

・地域福祉あつたか空間 きらり · 総合厨房 しあわせはこぶパン工房 ぐらんまるしえ

・サロン あつたかい輪 · きらりホール · 市民ギャラリー · ぱれっとハウス

4 グループホーム ホームとんぼ I ・ II ・ III

5 その他…木工作業所・堆肥工房・自然農法による稲作・どんぐり山自然公園 等

これらの事業をもって本会は三つの大きな力を得ることができました。一つ目は医療行為（すなわち看取り）ができる力、二つ目は複数の福祉分野が内部循環という仕組みを機能させた力、三つ目は地域社会のセーフティネットとしての拠点の力であります。

この大きな三つの力と従来からの地域社会との変わらぬネットワーク、障がい者の就労支援、生活介護、相談支援、グループホームなどの多角的な支援を融合し、新たな平成 31 年度の事業を計画いたします。今後もかわらぬご支援、ご指導をお願い申し上げます。

2、まるご福祉社会が目指す理念の具体化

「人の心に幸せの種をまく」

明治の文豪・幸田露伴の「努力論」の中に、「人間の生き方」を3つに分類したところがある。それは「惜福」「分福」「植福」である。

「惜福」とは、自分が持っている財産や宝を無駄遣いしないこと。

「分福」とは、自分だけ楽しまず、人に福を分けてあげること。

「植福」とは、幸せを、人の心の畠の中に、種を蒔いてあげること。そして、幸せの花を咲かせてあげること。

私たちまるご福祉社会は、この「植福」を、障がいの有無にかかわらず、どんな人々も味わえるよう、施設やグループホームにおける様々な作業や生活をとおし、その人の人生において、心の畠に幸せの種をまき、幸せの花を咲かせることを、永遠に目指していく。

『職員指針』

(1) オアシス宣言

- 1 思いやりの心で
- 2 明るさを大切に
- 3 幸せなときを
- 4 過ごせる職場 ホーム まち 人生を目指す

(2) あいさつの心 あ…明るく笑顔で い…いつでも さ…先に つ…続けて

(3) 明るい職場は、心も成長

み…認め合う心（尊重） た…高め合う心（練磨） よ…寄せ合う心（協調）

(4) A T M

A…明るく

T…楽しく

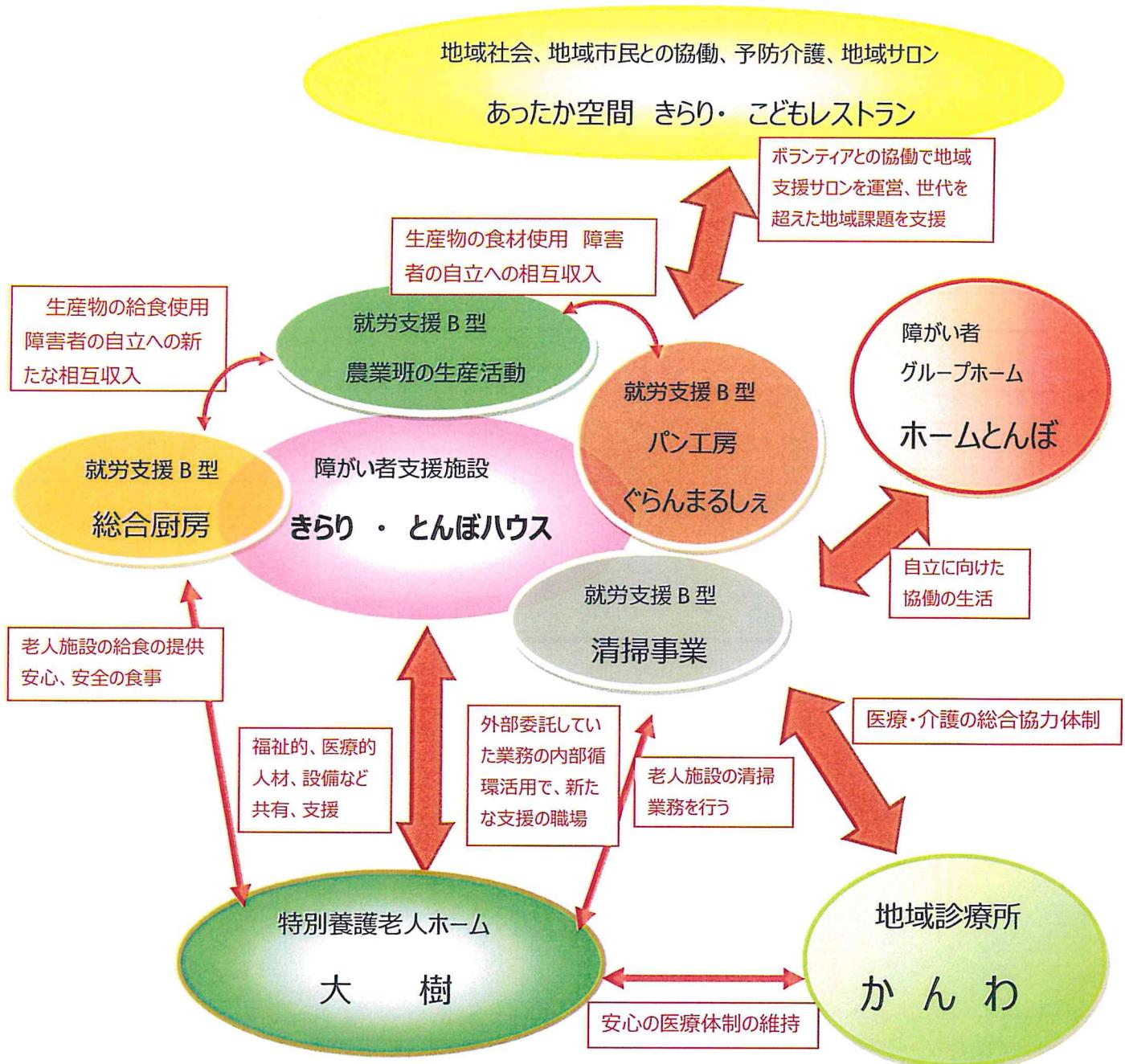
M…前向きに

平成 31 年度 事業計画

1、法人総合事業計画

本会は社会福祉を推進するにあたり、大きな三つの力を得ることができました。①医療行為（すなわち看取り）ができる力、②複数の福祉分野が内部循環という仕組みを機能させた力、③地域社会のセーフティーネットとしての拠点の力を最大に活用して、新たな地域福祉のための事業を行って参ります。

(まるご福祉会が創る、地域支援、内部循環型総合福祉)



(1) 内部循環総合福祉

従来の特別養護老人ホームという福祉施設では、給食業務、清掃業務、リネン・洗濯業務など多くの業務が外部委託されていました。この老人介護の施設と障がい者の支援施設が一体的に取り組むことで、今まで委託されていた各種の業務を障がい者の新たな就労支援の場として展開します。

一次的には、同じ利用者収入であっても、その業務の活用の仕方により、二次的、三次的に他分野の福祉支援にすることができるだけでなく、一次産業、二次産業、三次産業による独自化をはじめ、今まで限界と思われている仕事の可能性を広げています。まるご福祉会の平成31年度事業計画においての中心とすべきは、この内部循環の総合的な福祉の基盤をしっかりと固め六次化を進めます。

具体的には

- ① 大樹の給食、きらりの給食、職員の給食を、就労支援B型事業として運営できる体制を確立する。
- ② 農業班の収穫を可能な限り総合厨房で活用して、相互の収益とする。
- ③ 大樹の清掃業務を中心に、清掃作業の就労支援B型事業として安定した運営にする。

(2) 医療分野の支援体制の確立

本会は、地域診療所「かんわ」を有しています。現在は大樹の利用者の嘱託医として、2週間に1回の木曜日診療を行っています。しかし、診療ができる医療施設をもっていることは、これから地域福祉にとって大きな可能性を持ちます。平成31年度は、その可能性を探りながら、一つ一つ開いていくことを計画いたします。

具体的には

- ① きらり・とんぼハウス・グループホーム利用者の外来診療を、診療所「かんわ」で行っていく。
- ② 職員の健康診断、診療を「かんわ」で行っていく。
- ③ 協力ボランティアや地域の高齢者などの診療を「かんわ」で行っていく。
- ④ 介護予防事業（上田市介護予防・日常生活支援総合事業）を5月より実施予定。

(3) 地域福祉拠点としての確立

本会は、あつたか福祉空間「きらり」を有しています。また、そこには就労支援Bのパン工房ぐらんまるしぇも併設されています。地域の福祉拠点として無限の可能性をもっています。平成31年度は昨年8月より開催している「こどもレストラン」を発展させ、地域の人材、埋もれた資源を活用しながら福祉空間をさらなる地域福祉拠点となるよう発展させます。具体的には

- ① 地域ボランティアとの相互連携による安定運営
- ② 併設総合厨房「しあわせはこぶパン工房ぐらんまるしぇ」による多角的な集客の安定運営
- ③ NPO法人子育て応援団「ぱれっと」による、ぱれっとハウスの運営
- ④ 「こどもレストラン」の運営
- ⑤ 各種地域行事の運営

2、継続して発展させるべき事業計画

従前から運営を開始した取り組みを、継続して事業発展させることを計画いたします。

(1) 地元ボランティア団体との協働

「あった空間きらり」を活用し、地元ボランティア団体「チームあったかい輪」と協働運営をしてまいりました。また、この空間は長野県社会福祉協議会の事例発表や講演会の会場として使用されるなど、多くの皆様は有効に活用しております。平成31年度は、更に多くの地域ボランティアなどの力を合わせながら、総合支援事業、地域包括ケアシステムの助力に貢献していく事業を展開します。

(2) 地域児童施設との継続的な連携・・・地域の保育園、幼稚園など

本会はこれまで、地域の長瀬保育園・ちぐさ幼稚園と交流を結び、同園との交流会などを本会の会場で行うなど活動をしてまいりました。あつたか空間きらりを訪れて互いの交流が結ばれています。このような流れは、地域福祉空間を有する本会にとって大変に価値ある展開であり、本会の今後の福祉事業の展開においても全世代を支える、地域社会の総合福祉拠点としての法人使命を果たすべく、きらりホールを中心に地元保育園、幼稚園との協働事業を計画します。

3、地域的に必要とされる事業計画

少子高齢社会が地域社会を直撃している昨今、地域にとって社会福祉法人が果たさなければならない使命もまた、重要なものとなっています。制度の隙間ともいいくべき事項であり、地域的な課題のなかで、現状の本会の所有する設備、体制で地域支援が可能なものを実施計画とする。

(1) 災害時の緊急避難および体制への地域拠点として

東日本大震災、阪神大震災と我が国は多くの災害が起きました。その度に人と人が支え合う地域の力が復興を可能としました。今、問われている災害時の地域の支えとしての拠点、本会の施設は可能な限りその使命を果たして参ります。特に大樹、きらり、福祉空間の3施設は同じ敷地内で設備も大きく災害時の拠点として機能できると考えます。尚、平成30年度からは、下長瀬地区避難所に指定されました。

- ① 食料備蓄など…… 通常時から災害用の食料を備蓄し、有事の際は、その食料を使用し、利用者と集った住民の命を維持します。
- ② 放送、連絡体制…… 本会のネットワーク環境を災害時に適応し Wi-Fi を整備しました。
- ③ 施設開放…… 福祉空間を含め、有事の際の施設開放を行うことを、支援体制として計画いたします。

④ 施設設備の充実…施設敷地内に井戸を設置。災害時の飲料水の確保及び水洗トイレの使用を可能とする。そのため、発電機・灯油・軽油・ガソリン燃料等を備蓄し、調理兼暖房用の反射型石油ストーブ等を常設しております。

(2) シエルター機能を含めた、緊急時の市民支援

近年、制度と制度の狭間で、支援や支えを受けられず更なる困窮の状態となる市民がみられます。健常者、障がい者の違いや、世代を問わず、緊急に援助が必要な困窮者がみられます。本会は現在、地域密着型特別養護老人ホームと障がい者グループホームという二つの入所型施設を有します。当然、居住、食事、入浴設備などがあります。地域市民の緊急的な支えが必要な際、二つの施設が有するショートステイ体制を柔軟に活用して支える体制を計画いたします。

本会のこれまでの市民緊急支援の実績例

- ① 刑務所退所後の行き場を失った市民の緊急支援
- ② 就労先を失った外国人滞在者の緊急支援
- ③ 家族の支援が受けられず、行き場を失った障がい者・児童の緊急支援

など、過去にも沢山の実績があります。

平成31年度 事業計画書

施設名：地域密着型特別養護老人ホーム 大樹

社会福祉法人 まるこ福祉会

計画責任者	施設長 金井正子	施設職員 (職責)	(介護主任) 田中洋子 (看護主任) 宮原華子	
	診療所 かんわ		嘱託医	1名
利用者状況	(定員) ユニット 29 ショートステイ 5 (現在数) ユニット 29 ショートステイ 4		職員総数	26

1、全体計画 (理念、目標)

1、理念

基本理念

「全ては、みんなの幸せのために」

- 寄り添うこころと家族のきずな
- 心豊かに健康で充実した生活

行動指針

- ① 利用者の思いをくみ取り、安心して心豊かに生活できる暮らしの継続に努めます。
- ② 利用者・職員と家族の絆をつなげます。
- ③ 利用者が地域の一員と感じられるように、生活の幅を広げるお手伝いをいたします。
- ④ ご家族と共に感し、入居者お一人おひとりが「生きがい」を持つよう支援いたします。
- ⑤ 寄り添う心で生涯を支え、看取りまで対応いたします。

2、年間利用者目標

1、平成31年度の利用者目標

- | | |
|--------------|----------------|
| ① 長期利用者 | 29床 年間 10,585床 |
| ② ショートステイ利用者 | 4床 年間 240床 |

2、平成31年の目標回転率

- ① 平成31年度 長期入所者目標回転率 100%
- ② 平成31年度 ショートステイ目標回転率 40%

3、年間予定

- 1、各種行事・・・・・・誕生会・季節行事など
- 2、施設運営推進会議・・偶数月（年6回）
- 3、避難訓練・・・・・・10月・3月
- 4、胸部レントゲン撮影・・7月
- 5、夜勤者健診・・・・・・9月・3月
- 6、音楽療法・・・・・・毎月

4、個別処遇目標

- 1、ケアプランに沿ったサービスの提供を行います。
- 2、アンケート結果を踏まえ、施設内会議や各種委員会で検討するとともに、研修会を開催し、ケア統一、質の向上に努めます。
 - ・サービス向上委員会・レクリエーション委員会等

5、消防計画

- 1、避難訓練（昼間）・・・・10月 きらりとの共同での実施
- 2、避難訓練（夜間）・・・・3月 特養大樹単独
- 3、施設防火管理者・・・・金井正子

平成 31 年度

事業計画書(案)

施設名 : 障がい福祉サービス事業所 きらり

社会福祉法人 まるこ福祉会

計画責任者 副施設長	施設長 小室 邦夫 副施設長 田中 二三枝	施設職員 (職責)	(サービス管理責任者)	田中 二三枝
利用者状況	(定員) 就労継続支援 B 型 生活介護 (現在数) 就労継続支援 B 型 生活介護 合計	30 10 39 14 53	職員総数	25

1、 全体計画 (理念、目標)

1、年間目標と「きらり目標」

- ① 仲間を大切にし、明るく楽しい施設を創造する。
- ② ゆっくり、のびのびと活動が送れる場を提供する。
- ③ 一人一人のニーズや状況に応じた支援を通し、作業意欲の向上や充実した日常生活を目指す。
- ④ 総合厨房と地域交流スペースの充実
 - ・地域交流スペース（きらりホール、きらり市民ギャラリー、サロン）の充実
 - ・ぐらんまるしぇ喫茶の充実（ランチ、パン、クッキー、ジャムの販売）

2、理念

まるこ福祉会の理念である「人々の心に、幸せの種をまく」をもとに、利用者、職員が共に、人、社会自分のために心を磨き、仕事と生活面において充実と達成感、満足感を味わい、幸せの境涯を築く。

また、まるこ福祉会の「オアシス宣言」の日々達成を目指して、思いやりと明るさ、幸せの環境を築く。

3、事業体（管理事業所など）

きらり		職員 13名
総合厨房、ぐらんまるしぇ		職員 12名

2、年間利用者目標

1、31年度の利用者目標

・就労継続支援 B型	30人	目標回転率	100%
・生活介護	10人		

3、主な活動内容

- ・リール箱詰め作業
- ・ミラマット選別作業
- ・ジャム瓶のシール貼り
- ・菓子の箱折り
- ・特別養護老人ホーム「大樹」の清掃作業
- ・改良土作りと販売
- ・農作物（無農薬米・ジャガイモ・ネギ・大豆・果樹）の栽培と販売
- ・味噌づくりと販売
- ・惣菜の製造と販売
- ・パン、菓子の製造と販売
- ・調理、食品加工と販売
- ・音楽・文化・芸術鑑賞（音楽鑑賞、落語、語り等各種ステージ）
- ・スポーツ等（ボッチャ、縄跳び、けん玉、ミニ運動会等）
- ・各種団体との交流会
- ・季節の散策とウォーキング
- ・カラオケ
- ・資源リサイクル作業とアルミ缶回収
- ・ハワイアンダンス、フラワーアレンジメント、手話ダンス、体力づくりの諸活動
- ・地域交流 等

4、年間予定（別紙参照）

別紙 年間予定に準ずる。

5、個別処遇目標

利用者のニーズは個々人により異なるため、きめ細かなアセスメントの把握に努め、その人らしい目標（個別支援計画）を設定し、自立に向け、自発的に取り組めるよう支援していく。

6、消防計画

- ・防災消火訓練・・・・・・7月・11月実施

平成 31 年度

事業計画書(案)

施設名 : 障がい福祉サービス事業所 とんぼハウス

社会福祉法人 まるこ福祉会

計画責任者	施設長 下村 みゆき	施設職員 (職責)	(サービス管理責任者)	荻原 敬子
利用者状況	(定員) 就労継続支援 B 型 生活介護 (現在数) 就労継続支援 B 型 生活介護 合計	20 20 14 20 34	職員総数	14

1、 全体計画 (理念、目標)

1、年間目標

- ① 明るく楽しい施設を創造する。
- ② ゆっくり、のびのびと活動が送れる場を提供する。
- ③ 一人一人のニーズや状況に応じた支援を通し、作業意欲の向上や充実した日常生活を目指す。

2、理念

まるこ福祉会の理念である「人々の心に、幸せの種をまく」をもとに、利用者、職員が共に、人、社会自分のために心を磨き、仕事と生活面において充実と達成感、満足感を味わい、幸せの境涯を築く。

また、まるこ福祉会の「オアシス宣言」の日々達成を目指して、思いやりと明るさ、幸せの環境を築く

2、年間利用者目標

1、31年度の利用者目標

・就労継続支援 B型	20人	目標回転率	100%
・生活介護	20人		

3、主な活動内容

○障がい福祉サービス事業所 とんぼハウス

- ・木工品の製作・販売、アルミ缶回収、石鹼の袋入れ
- ・クッキーの製造・販売
- ・軽食・喫茶の提供
- ・地元物産品の販売
- ・一般企業へ施設外就労
- ・機械部品の分解・分別、きのこキヤップの洗浄、梱包用シートの再利用等の簡易作業、広告の袋入れ等
- ・障がい者優先調達推進法関係の仕事
- ・趣味や特技を活かした活動

手話ダンス、ハワイアンダンス、お料理、絵手紙、軽運動、プール(水中ウォーキング)、お誕生会等

・地域交流・地域貢献

トレーラーハウスの地域への開放(カラオケ・喫茶等)

別紙 きらり年間予定に準ずる。

5、個別処遇目標

利用者のニーズは個々人により異なるため、きめ細かなアセスメントの把握に努め、その人らしい目標(個別支援計画)を設定し、自発的に、より楽しく取り組めるよう支援していく。

6、消防計画

- ・防災消火訓練……5月・9月実施

平成 31 年度

事業計画書(案)

施設名 : 共同生活援助事業所 ホームとんぼ

社会福祉法人 まるこ福祉会

計画責任者	管理者 小室 邦夫 副管理者 田中二三枝	施設職員 (職責)	(サービス管理責任者) (世話人)	田中 二三枝 5名
利用者状況	(定員) ホーム総定員数 (現在数) ホーム総数	18名 17名	職員総数	7名

1、全体計画 (理念、目標)

1、年間目標

- ① 明るく楽しい生活の場を創造し、無事故の運営を行う。
- ② 利用者との信頼関係を構築し、規則正しい自立した生活ができるよう努める。
- ③ 利用者一人一人が健康で過ごせるよう支援する。
- ④ 感染症対策を徹底する。
- ⑤ 「まるこ福祉会 命を大切にする宣言 7か条」の着実な実践により、社会性を醸成し、人権尊重の精神の体言化を図る。

2、理念

まるこ福祉会の理念に基づき、利用者の生涯を支えるとともに、地域に開かれた施設とする。

2、年間利用者目標

1、31年度の利用者目標

- ① 長期利用者定員 18室 年間 6,570室 利用者率 100%

3、年間予定

- 1、各種行事……季節に応じたバス旅行等、利用者のニーズに応じた行事を行う。
- 2、夜間避難訓練…10月 防災消火訓練…6月
- 3、世話人懇談会…適宜 利用者の状況と世話人としての仕事内容について、成果と課題を出し合い、円滑な運営を構築する
- 4、利用者懇談会…利用者全員が集い合い、日頃のグループホームの生活状態について意見交換をし、充実した生活が送れるよう懇談の場とする。
- 5、世話人会の開催…理念、目標の共有と支援の平均化を図る。

4、個別処遇目標

- 1、個別支援計画を作成して記録の実施も明確にします。
個別支援計画は6か月ごとに見直しを行い、本人、家族の承認を得ます。
作成の流れは、サービス管理責任者が原案作成 → ケア会議 → サービス管理責任者が細部の検討と作成、承認

5、消防計画

- 1、夜間避難訓練……10月実施
- 2、防災消火訓練……6月実施

社会福祉法人 まるこ福祉会 平成31年度 年間行事計画案

H31.3.28. 評議員会、理事会

月	本部	日にち	(大) 大樹		販 売 会 等
			行 事		
4月	こどもレストラン	1 入所式 お花見会・春を探そう会 大樹との交流会（お花見） トトロの旅 施設運営会議(大) お花見（大） 音楽療法（大）	カラオケ 移動図書館 手話ダンス お誕生日会 ハワイアンダンス フラワーアレンジメント	すいせん祭り3月30日～4月21日 ツルヤ 堆肥納品	
5月	こどもレストラン 第三者委員会 理事会・評議員会	どんぐり山植樹・整備 上小障害者スポーツ大会 ナイスハートふれあいスポーツ広場 全国一斉「運動の日チャレンジデー」 音楽療法（大） 外出支援（大）	カラオケ 移動図書館 お誕生会 ハワイアンダンス お誕生日会 とんぼクッキング	ツルヤ 堆肥納品 国際交流フェスティバル	
6月	こどもレストラン	信州ルネッサンス 田植え 丸子中央小学校音楽会鑑賞 大樹との交流会 トトロの旅 施設運営推進会議（大） 音楽療法（大） 外出支援（大）	カラオケ 移動図書館 手話ダンス お誕生日会 ハワイアンダンス フラワーアレンジメント とんぼクッキング	ルネッサンス いきいきフェスティバル ラベンダーまつり バラ祭り ほのぼの市	
7月	こどもレストラン	どんぐり山植樹・整備 靈泉寺クリーンフェスタ 夏を見つけに出かけよう 上田養護学校実習 トトロの旅 避難訓練・消防設備点検 音楽療法（大） 外出支援（大）	カラオケ 移動図書館 手話ダンス ハワイアンダンス お誕生日会 とんぼクッキング	ラベンダーまつり 市民フェスティバル 上田東高校東祭 靈泉寺クリーンフェスタ	
8月	こどもレストラン	麻布大学付属高校演劇部公演会 夏の紅白歌合戦 大樹との交流会 サマー ボランティア受け入れ トトロの旅 施設運営推進会議（大） 音楽療法（大） 家族合同夏祭り（大）	カラオケ 移動図書館 フラワーアレンジメント お誕生日会 ハワイアンダンス とんぼクッキング	花市	
9月	こどもレストラン	避難訓練 利用者ミニ運動会 大樹との交流会 トトロの旅 音楽の祭典 音楽療法（大） 外出支援（大）	カラオケ 移動図書館 手話ダンス ハワイアンダンス お誕生会 とんぼクッキング	ナイスハートバザール上田 上小ボランティアフォーラム 千曲荘病院祭	
10月	こどもレストラン	秋を探そう 還足 音楽村バラ園見学 稲刈り どんぐり山草刈 トトロの旅 スポーツの祭典 施設運営推進会議（大） 音楽療法（大） 外出支援（大）	カラオケ 移動図書館 フラワーアレンジメント お誕生日会 ハワイアンダンス 手話ダンス とんぼクッキング	よつば祭り そよかぜ病院祭 秋のバラ祭り 中旬	
11月	こどもレストラン	劇団パク公演 収穫祭 依田保育園交流会 大樹との交流会 大樹防災訓練（夜間） 上田養護学校実習 避難訓練・消防設備点検 トトロの旅 音楽療法（大）	カラオケ 移動図書館 手話ダンス ハワイアンダンス お誕生日会 とんぼクッキング	たてしなふれ愛園祭り 上野が丘公民館文化祭 消費生活展 丸子解放センターまつり	
12月	こどもレストラン	インフルエンザ予防接種 お楽しみ会、紅白歌合戦 トトロの旅 施設運営推進会議（大） 音楽療法（大） 利用者忘年会（大）	カラオケ 移動図書館 フラワーアレンジメント お誕生日会 ハワイアンダンス 手話ダンス とんぼクッキング	ふれあい人権の集い	
1月	こどもレストラン	成人のお祝い カラオケ大会 大樹との交流会 トトロの旅 音楽療法（大） 利用者新年会（大）	カラオケ 移動図書館 手話ダンス ハワイアンダンス お誕生日会 とんぼクッキング		
2月	こどもレストラン	豆まき 大樹との交流会 トトロの旅 施設運営推進会議（大） 音楽療法（大）	カラオケ 移動図書館 フラワーアレンジメント お誕生日会 ハワイアンダンス 手話ダンス とんぼクッキング	ナイスハートバザール佐久	
3月	理事会・評議員会 こどもレストラン	大樹との交流会 トトロの旅 音楽療法（大）	カラオケ 移動図書館 お誕生日会 手話ダンス ハワイアンダンス とんぼクッキング		